

# 前籠（まえごもり）漁港（鹿児島県十島村）（第4種）

## ■地区の概要

主な魚種：かつお、まぐろ類

十島村は、屋久島と奄美大島の間に点在する北部南西諸島に位置するトカラ列島にあり、島々は、広大な海によって隔絶され、厳しい自然環境にあり、火山の島、サンゴの島、温泉の島とそれぞれに特色を持ち、無垢の自然と大和・琉球の両文化に影響を受けた特有の文化を有している。

前籠漁港が位置する宝島は、トカラ列島の最南端の島で、鹿児島港を出港した村営船「フェリーとしま2」が最後に到着する島である。

## ■事業の目的

本漁港は、南海トラフ地震防災対策推進地域内にあるとともに、県地域防災計画で最大震度7の奄美群島太平洋沖（北部）地震が想定されているが、主要な係留施設について耐震・耐津波性能が確保されておらず、外郭施設については設計波浪に対して天端高が不足しているなど、漁港施設の被災により、漁業活動や定期船による物資輸送の支障で島民の生活に大打撃が生じる。

よって、これらの施設の耐震・耐津波性能を確保するための整備を行う。



## 事業内容:

### ■主な事業量

西防波堤、東防波堤、-5.5m岸壁、-3.0m岸壁

■事業期間： R1～R7

■事業主体： 鹿児島県